

ヘキサケミカル

特色あるマスターバッチ(MB)を豊富に揃え、プラスチックへの付加価値を追求するヘキサケミカル。研究開発はもちろん、M&A(合併・

買収)を駆使し製品群の拡充を図り、新規ユーザーを獲得することで、MB事業を成長させている。

同社は着色剤MBと機能性MBの両方を手がけている。これら製品は主力の茨木工場(大阪府茨木市)をはじめ、グループの関西ヘキサケミカル(兵庫県西脇市)ならび

に関東ヘキサケミカル(埼玉県川越市)の3拠点で生産。要望が高まっているBCP(事業継続計画)対応が最大の強みとなっている。

引き合いが増しているのが機能性MBで、なかでも難燃剤をはじめとした機能性素材や、樹脂を必要とせず、難燃剤や顔料といった添加剤のみで構成する主力の「ヘキサペレ」が好調に推移して

機能性MBが好調

いる。自動車部品、建築材料など、さまざまな分野で需要が旺盛なため、ヘキサペレの製造設備を1系列新設することを計画している。

ヘキサペレに比肩する

次世代製品の育成にも力を入れていく。期待を寄せているのが、添加剤MBの一種であるシリコーンMB。プラスチックに同MBをコンパウンドすることで摺動性やきしみ防止といった特性を付与できる。こうした点が評価され、食品容器、自動車部品などで採用が進ん

でいる。

添加剤MBでは昨年、関東ヘキサケミカルに1億円超を投じて増設したバンパリーミキサーが順調に稼働、生産量を拡大している。

高機能プラスチックが活躍する領域はますます広がっており、新たなニーズに対応していけるよう、開発技術部を新設した。新規素材のみを手がける精鋭部隊として技術力にさらに磨きをかけ、新規商品の開発スピードを加速する。

引き合いに応えて増産